

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.65 December 2019

第4回研究会を開催 11月22日(金)



第4回研究会は、千里山キャンパス内 校友・父母会館2階会議室において39名の会員・機構研究員・学生が参加し、大変活気ある研究会となりました。

今回の研究会は「変わりゆく価値観とこれからのコミュニケーション」をテーマに、第1部として社会保険労務士 ニシモト事務所 西本恭子氏と社会学部 富田英典教授による講演会を行いました。第2部は西村会長の発案により、入会20年以上の会員様を対象とし振興会へのご尽力と功績をたたえるための功労者賞の授与式を行いました。

1 講演「目指せ！イキイキ職場へ～しない、させないハラスメント～」

社会保険労務士 ニシモト事務所 西本 恭子 氏

社会保険労務士 ニシモト事務所 西本恭子氏より、「目指せ！イキイキ職場へ～しない、させないハラスメント～」というタイトルでご講演いただきました。初めに「1.ハラスメントの現状」として、従来多かった「解雇」に対し、近年では「いじめ・嫌がらせ」に関するものが増加していることが示されました。次に「2.ハラスメント当事者を知る」として、パワハラ・セクハラについて、どのような事例が該当するかについて演習を行いました。最後に「3.当事者にならないために」ということで、参加者がチェックシートに回答し、各自のジェンダー(社会的・心理的区別)が、①自分優先(攻撃的タイプ)、②他者優先(非主張的タイプ)、③自分、他者尊重(アサーティブタイプ)のいずれであるかの分析を行いました。続いて相手に対するメッセージの伝え方として「YOUメッセージ(相手が主体)」と「Iメッセージ(自分が主体)」があることを解説いただきました。その上で、ハラスメントにならないためには「Iメッセージ」により、相手を尊重しながら自分の気持ちを「率直」・「誠実」・「対等」に伝える(アサーティブコミュニケーション)ことが大事であることを学びました。



参加された会員の皆様は、企業活動に直面した問題として熱心に聴講されていました。

2 講演「セカンドオフライン時代の新しいモバイル・サービス」

社会学部 教授 富田 英典 氏



富田先生は情報メディア論を専門分野とされ、インターネットやマルチメディア化するケータイによって社会がどのように変わっていくかを分析することが現在の研究テーマだそうです。

今回は、題目にある「セカンドオフライン」と呼ぶ現象の下、現代人の時間と場所の感覚がいかに変容し始めているかを、事例とともにご講演いただきました。

VR(仮想現実)ではバンダイナムコの「VR ZONE」など、AR(拡張現実)ではスマホ向けARアプリなどのバーチャルとリアルが直線上に並んだ世界があることを解説いただきました。

デジタルネイティブにとっては「体験」が価格や機能性より重要になってきており、その実例としてコココーラの「リボンボトル」などを紹介いただきました。その他、どの場所でどんな音楽を聴くかで景色が変わる「聴覚AR」、のぞき込むと過去の景色の見えるパリの「Time Scope」、人間のような人形と、耽美の丘を登る「人形になる人々」など、日常生活(オフライン)とネット情報(オンライン)が融合し始めた「セカンドオフライン」の世界を次々とご紹介されて、映像に引き込まれ興味の尽きない、しかし、あっという間のご講演でした。

なお最後に、事例を紹介される富田先生が、見ていて本当に楽しそうだったことを申し述べておきます。

3 科学技術振興会 功労者賞 授賞式

第2部は西村会長の発案により、入会20年以上の会員様を対象とし振興会へのご尽力と功績をたたえるための功労者賞の授与式を行いました。授与式では、受賞者の皆様より一言ずつご挨拶をいただき、盛会のうちに研究会を終えることができました。



受賞者の皆様は以下の通りです（企業会員・個人会員で五十音順）。

株式会社 アルミネ	ウメトク 株式会社	大阪特殊合金 株式会社
株式会社 大阪フジサービス	大阪冶金興業 株式会社	株式会社 亀井商事
共栄電器工業 株式会社	株式会社 紀和マシナリー	三和パッキング工業 株式会社
株式会社 松風	株式会社 棚澤八光社	株式会社 TONEZ
トーホーフロロ 株式会社	日章アステック 株式会社	日本化学機械製造 株式会社
株式会社 日本スペリア社	八田工業 株式会社	東尾メック 株式会社
株式会社 福井製作所	株式会社 北海鉄工所	三菱日立ツール 株式会社
安田プラスチック 株式会社	ヤナセ製油 株式会社	ヤノシゲ 株式会社
リグナイト 株式会社	木田 堯次	紺木 久彌
塩田 貴美代	武内 博資	(敬称略)

第4回研究会では参加会員の皆様より、会社案内、製品パンフレットなどをお預かりし、会場にて置き配布させていただきました。次年度も引き続き、研究会での置き配布を継続させていただきます。皆様もぜひお持ち寄りください。



アンケート集計結果

今回は19件の回答を得ました。第4回研究会の内容については、「やや参考になった」53%、「参考になった」が37%、「理解しやすかった」「やや理解しやすかった」が79%との回答いただきました。また、長さについては「ちょうど良い」が63%、「関心のある技術分野」については、「機械・メカトロニクス」と「ものづくり・加工」との回答が最も多く、「知りたい情報」については、「実用化が期待される研究成果」との回答が多くありました。これらの結果を、今後の研究会活動に反映するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

振興会のホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>
 関西大学 HP からサイト内検索で「振興会」を入力してください

ASCIKU 関西大学科学技術振興会
 Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University